

俺たちに明日はない (Bonnie and Clyde)

観賞日 2022年10月10日 上映時間 112分

【概要】

制作 1967年 アメリカ
監督 アーサー・ペン
脚本 デヴィッド・ニューマン、ロバート・ベントン
音楽 チャールズ・ストラウス
撮影 バーネット・ガフィ
出演 ウォーレン・ベイティ (クライド・バロウ)、フェイ・ダナウェイ (ボニー・パーカー)
マイケル・J・ポラード (C. W. モス)、ジーン・ハックマン (バック・バロウ)
エステル・パーソンズ (プランチ・バロウ)



【あらすじ】

アメリカ・テキサス、1931年。ボニー・パーカーは刑務所帰りの男クライド・バロウと出会う。ここから、仕事は銀行強盗というクライドと金髪のボニーの物語が始まる。その後、自動車に詳しいC. W. モスとクライドの兄であるバック夫妻を仲間に加えた5人はいつしか南部では有名な銀行強盗になっていた。警察の盲点を突いた州境で起こす犯行。気の休まらない逃亡生活。仲間同士の反目。後戻りできない明日なき日々。ついにバックが射殺され、負傷した二人はモスの実家に逃げ込む。

1960年代の「病めるアメリカ社会」を背景に、実在したアンチヒーローを主役に据えたアメリカン・ニューシネマの先駆けとなった作品。映画史に残る壮絶なラストシーン。

【解説】

■ポイント

●ボニーとクライド

1930年代に実在した若い男女二人組の銀行強盗。当時のアメリカは未曾有の不況と悪名高き禁酒法で荒廃していた時代。国民の不満は充満しており、警察を欺き犯行を繰り返す二人に拍手を送る者もいた。

●アメリカン・ニューシネマの代表作

- ・1960年代後半から1970年代の前半にかけてアメリカ映画を席卷した作品群
特徴は「アンチヒーロー」「アンチハッピー」
- ・代表作は本作以外に「卒業」(1967年)、「イージー・ライダー」(1969年)
「真夜中のカウボーイ」(1969年)、「マッシュ」(1970年)他

●絶妙な邦題

「ボニーとクライド」→「俺たちに明日はない」
「ブッチ・キャッシュディとザ・サンダンス・キッド」→「明日に向かって撃て」

●授賞・評価

1968年第40回アカデミー賞：10部門にノミネートされ2部門(助演女優賞・撮影賞)受賞
AFI「アメリカ映画ベスト100」(2007年)：27位にランクイン

■見どころ

●ラストシーン

87発の銃弾を浴びる壮絶な死(「死のバレエ」と呼ばれた)

●ボニーが語る「ボニーとクライドの詩」

●音楽

「フォギー・マウンテン・ブレイクダウン」：警官に追われて逃げ回るシーンにかかる